

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KB	科名 ファッション工科基礎科 1年	単位 19
科目コード	科目名 服裝造形 I	授業期間 前期・後期
担当教員(代表) : 早渕 千加子他担任		共同担当者 : 1-早渕・2-齊田・3-趙・4-鈴木・5-吉岡

科目概要、到達目標、レベル設定

- ・衣服全般の基礎知識を習得する。(縫合の基礎、作図基礎理論、体型観察)
- ・服作りの基礎となる服の構造、デザイン表現、作図方法、素材の扱い方、縫製方法を各アイテムにおいて習得する。
- ・バザー作品を通し、ボランティア精神の育成と既製服としてのデザイン、縫製法、検品、販売までの流れを学習する。
- ・ドレーピングの基礎知識を習得する。(ボディについて、布の準備、基礎ドレーピング・マーキング・ドラフティング)

【授業計画】

服裝造形論 I 4単位

服裝造形デザイン I 4単位

服裝造形パターンメーキング I 4単位

服裝造形ソーイング I 7単位

1 基礎 (一般知識・縫い方の基礎)	前期 13 コマ	基礎縫い A ミシン縫い・B 手縫い
2 体型研究	前期 20 コマ	身頃原型・スカート原型 (1/4・実物作図)・トワル製作・試着補正・レポート
3 スカート I	前期 22 コマ	デザイン・パターン・実物製作・レポート
4 シャツブラウス I	前期 36 コマ	デザイン・パターン・実物製作・レポート
6 子供服	前期 3 コマ	デザイン・パターン・実物製作・レポート
7 スカート II	後期 30 コマ	デザイン・パターン・実物製作・レポート
8 ジャケット I	後期 60 コマ	デザイン・パターン・実物製作・レポート
9 ワンピースドレス I	後期 60 コマ	デザイン・パターン・実物製作・レポート
10 パンツ I	前期 4 コマ	デザイン・パターン・実物製作・レポート (生産管理概論実物製作)
11 ドレーピング基礎 (文化ボディ)	前期 12 コマ	胸ぐせダーツのバリエーション (ショルダーダーツ)
12 試験対策	前後期 6 コマ	

評価方法・対象・比重

- ・評価基準 : 服裝造形論 学業評価 50%、授業姿勢 50%・服裝造形デザイン、パターンメーキング、ソーイング 学業評価 80%、授業姿勢 20%

主要教材図書 文化ファッション大系 服飾造形講座 ①服飾造形の基礎 ②スカート・パンツ ③ブラウス・ワンピース
④ジャケット・ベスト ⑧子供服 ⑨メンズウェア I
文化ファッション大系 アパレル生産講座 ③立体裁断 基礎編

参考図書 装苑・コレクション誌他

その他資料 実物標本・段階標本、参考プリント他

記載者署名欄 齊田 信子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KB1	科名 基礎科1~5組	単位 1単位
科目コード	科目名 量産技術概論・実習	授業期間 通年

担当教員(代表) : 加藤紀人

共同担当者 :

【授業概要、到達目標・レベル設定】

アパレル製品の生産について関心を持たせ、一品作りと量産の違いについて認識させること目標とする。
実習として工業用ミシン・アイロンを主とした生産機器の安全な使用方法を習得する。
生産指示書類の見方に関する講義や特殊機器見学を行い工業生産に関する理解を深める。

【授業計画】

I. ガイダンス

アパレル生産機器の概要 (2)

- 授業概要について
- 特殊機器の見学
- 本縫いミシン・縫かがりミシン・アイロンの操作方法

II. アパレル産業界の生産プロセス (1)

- アパレル産業界の生産プロセス

III. 仕様書と指図書の見方 (1)

- 生産指示書類の役割について

IV. 工程分析 (1)

- 工程分析表の見方と考え方

V. パンツ縫製実習 (10)

- 裁断
- 丸縫いによる縫製

【評価方法】

履修認定 P表示

主要教材図書 「工業用ミシン・アイロンの基本操作と知識」

参考図書 なし

その他資料 プリント配布

授業の特徴

顧客が要求する高い品質の商品を作り出すためには、まずミシンやアイロンという生産機器が持つ性能とその操作方法を正しく理解することが必要である。実習や講義を通じてアパレル生産に対する理解を深めるきっかけづくりが授業の特徴である。

担当教員紹介

文化服装学院 専任講師

記載者氏名 加藤紀人

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KB1	科名 ファッション工科基礎科 1年	単位 2
科目コード 950011/ 950012	科目名 自由研究 IA/ IB	授業期間 通年

担当教員(代表)：早渕千加子他担任

共同担当者：1-早渕・2-齊田・3-趙・4-鈴木・5-吉岡・

科目概要（教育目標・レベル設定など。200字以内で記入してください。HP等に引用し、公開します。）

- ・レギュラー授業で不足していることを講義等で補う
- ・川上産業である産地見学を行うことでテキスタイルについての造形を深め各自の作品作りに生かす。
- ・上級見学を行い各自の進路について考える。
- ・服装造形の全ての細目において、各自興味を持ったテーマについて研究する。
- ・各自の目標に合わせ既習細目におけるレベルの向上をはかる。
- ・個々の能力に合わせて知識・技術を応用発展させ、各自の専門性を追及する。
- ・発表会（展示会）を行うことにより、プレゼンテーション能力を養う。

自由研究 IA

- ・布地探し
- ・テキスタイル講義 ウールマーク協会
- ・素材の産地見学 富士吉田産地 桐生産地 世界遺産富岡製糸場
(研修費一人当たり 12,000円 内保険料 200円 昼食代 1000円含む)
- ・前期上級教室見学
- ・国際交流センター利用法
- ・その他

自由研究 IB

- ・進路相談
- ・上級説明会
- ・講義 マーケットリサーチ～ワンピースドレスデザイン発想のために～
- ・講義 きもの
- ・ワンピースドレスアクセサリー制作
- ・プレゼンテーション

評価方法・対象・比重

研究発表・作品・レポート他

主要教材図書 文化ファッション大系他

参考図書 なし

その他資料 なし

記載者署名欄 齊田 信子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コド KB1	科名 ファッション工科基礎科	単位 1単位
科目コド	科目名 ファッションビジネス概論	授業期間 (後期)

担当教員(代表) : 澤住 倫子	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・ファッションビジネスの基礎知識の理解
- ・ファッション産業構造の把握と専門業務の把握による職種選択のための対応

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

I. ファッションとビジネス (1コマ)

1. オリエンテーション 衣服とファッションの関係

II. ファッションビジネスの基礎知識 (2コマ)

1. ファッションの範囲と流行の把握
2. ファッションの構成メンバー ファッションビジネスに求められる資質

III. ファッションビジネスの変遷 (3コマ)

1. 戦後の社会経済とファッション消費の変遷 1950年-1970年
2. 戦後の社会経済とファッション消費の変遷 1980年-現代
3. 現代のファッションキーワード～未来型ファッションビジネス思考

IV. ファッション産業の構造 (3コマ)

1. テキスタイル産業の構造 テキスタイル業界と産地
2. アパレル産業の構造について アパレル業界とアパレルメーカー
3. 小売業の構造について リテール業界と新業態

V. ファッションビジネスの実務 (3コマ)

1. アパレル企業の業務と職種について
2. ファッション小売業の業務と職種 ファッション販売と顧客の購買行動
3. マーケティングの基礎知識

VI. 計数知識 (1コマ)

1. ファッションビジネスに必要な計数の基礎知識

VII. まとめ (1コマ)

1. 試験解答を通してファッションビジネスの基本を振返る

※すべて講義

【評価方法】

試験 50% テキスト提出 30% 出席 20%

主要教材図書

参考図書 日経、織研新聞、繊維白書、WWDなど

その他資料 教材専用プリント類

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名 澤住 倫子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KB1	科名 ファッション工科基礎科	単位 2単位
科目コード	科目名 ファッションデザイン画 I	授業期間 通年

担当教員(代表) : 坂本真由美

共同担当者 :

【授業概要、到達目標・レベル設定】

服の土台となる人体とポーズを理解し、身体と衣服の関連性・服のデザインを描いて表現する力を身につける。
マーカーを中心に、多様なアパレル素材の彩色方法を学び、個々のデザイン性に合わせた表現方法を育む。

【授業計画】

(全28コマ)

1. 頭身プロポーション (1コマ)

ファッションデザイン画の必要性と8頭身プロポーションを理解する

2. ポーズ (2コマ)

片脚重心ポーズの要点を理解する

3. マーカーの使い方 (1コマ)

アルコール性マーカーの使用方法について

4. スカートの描き方 I (1コマ)

ベーシックなデザインのスカートを描く演習

5. マーカーの使い方 (1コマ)

アルコール性マーカーの使用方法について

6. 着装画・スカート I (2コマ)

(1)オリジナルデザインのスカート着装画彩色仕上げ (2)綿麻の素材表現

7. シャツブラウスの描き方 (1コマ)

ベーシックなデザインのシャツブラウスを描く演習

8. 着装画・シャツブラウス (2コマ)

(1)オリジナルデザインのシャツブラウス着装画彩色仕上げ (2)柄、シースルーの素材表現

9. 製品図 (3コマ)

(1)基本的な描き方の演習 (2)各自で用意した資料を製品図化

10. 夏期休暇課題

(1)ポーズの練習 (2)コンクール画

11. スカートの描き方 II (1コマ)

ベーシックな秋冬素材スカートの描き方を演習

12. 着装画・スカート II (1コマ)

オリジナルデザインのスカート着装画彩色仕上げ

13. ジャケットの描き方 (1コマ)

ベーシックなデザインのジャケットを描く演習

14. 着装画<ジャケット> (2コマ)

オリジナルデザインのジャケット着装画彩色仕上げ

15. 素材表現 (2コマ)

(1)特殊素材の素材表現 (2)異素材の組み合わせ、着装画を描く演習

16. 修了制作 (5コマ)

ファッション画としての表現力や背景を含めた画面構成を研究し制作する

17. 1年間のまとめ (3コマ)

(1)学年末試験(実技試験)の説明、復習 (2)各科への進級に向けての対応

【評価方法】

S～C・F評価／評価基準：学業評価80%、授業姿勢20%

※学業評価=各期末試験の得点、平常成績(授業内での応答、課題作品・実技の評価)など 授業姿勢=出欠状況、授業課題提出状況など

主要教材図書 文化ファッション大系服飾関連専門講座⑤ ファッションデザイン画

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

ファッションデザイン画の基礎的な技術を習得できる授業構成。文化服装学院専任講師が担当。

記載者氏名 坂本真由美

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KB1	科名 ファッション工科基礎科	単位	1単位
科目コード 500100	科目名 クロッキー	授業期間	通年（隔週）

担当教員(代表)：柳澤 利光

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

様々なものの見方を通じ、描写の楽しさを再認識する事と合わせ、創造力を伸ばす為の観察力・イメージを見る側に伝える為の基本描写力・着装画の土台となる立体造形の描写力向上を目的とする。

【授業計画】

- 1、幾何形体の描写練習：着装人体の描写につながる幾何形体の描写練習。
- 2、速写をする：全体のシルエットを捉える。生きた動きを捉える。
- 3、小物を描く：観察からの描写。
- 4、頭部を描く：頭部の基本造形を理解。
- 5、脚・着装スカートを描く：脚の基本造形描写。着装スカートと腰・脚の関係確認。
- 6、クレヨンスクラッチ：意識と偶然の描写美の発見。
- 7、立体技法：明暗による立体把握。
- 8、①描写時の視点・気付き：創造につながる本質描写の理解と実習。
②着装シアーワンピースを描く：着装ワンピースと人体の自然な関係確認。
- 9、胴体を描く：胴体を単純化した造形理解。
- 10、腕・手を描く：腕・手を単純化した造形理解。
- 11、①無彩色技法：単色表現の可能性。
②球体関節人体を描く：人体のシンプルな立体描写と大きな関節を押さえる。
- 12、描写応用技法：限られた色数と画材による具象～抽象・色彩描写。
- 13、裸婦クロッキー：裸婦クロッキー実習。
- 14、自然物を描く：造形描写の再確認と質感描写。

【評価方法】

S～C・F評価。評価基準：学業評価80%授業姿勢20%。

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 授業の各テーマに合わせ、講師側で準備。

授業の特徴と担当教員紹介

実際にものを観察し手を動かして制作する中で、創造力・描写力を伸ばします。
担当教員はファインアートを主に制作しています。

記載者氏名 柳澤 利光

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科名 ファッション工科基礎科	単位	2単位
科目コード	科目名 西洋服装史 I	授業期間	通年()

担当教員(代表)：朝日 真	共同担当者：朝比奈 瑞子
---------------	--------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

古代から近世18世紀までは、その時代背景を踏まえ美術史や映画によって服飾を解説していく。19世紀近代以降は、パリオートクチュール・ビジネスが確立し、ファッションが産業化していく過程を解説する。20世紀以降、デザイナーの時代が始まり、合わせてデザイン史、音楽史、映画史などにも触れながら、多方面からファッション史の理解を深める。

【授業計画】

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーション	16	1950年代のファッション(1)
2	博物館見学	17	1950年代のファッション(2)
3	古代の服飾	18	1960年代のファッション(1)
4	中世の服飾	19	1960年代のファッション(2)
5	ルネサンスの服飾	20	1960年代のファッション(3)
6	バロックの服飾	21	1970年代のファッション(1)
7	ロココの服飾	22	1970年代のファッション(2)
8	第一帝政、王政復古時代の服飾	23	1980年代のファッション(1)
9	第二帝政時代の服飾	24	1980年代のファッション(2)
10	第三共和制時代の服飾	25	1990年代のファッション(1)
11	アールヌーヴォー様式期の服飾	26	1990年代のファッション(2)
12	1910年代のファッション	27	
13	1920年代のファッション	28	
14	1930年代のファッション	29	
15	1940年代のファッション	30	

【評価方法】

前期レポート提出(30%)、学年末定期試験(20%)、出欠と授業態度(50%)

主要教材図書

文化ファッション大系「西洋服装史」

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

学生がデザイン発想するために役立つ授業展開を心がけている。メンズとストリートファッションに特を専門とする。

記載者氏名 朝日 真

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KB1	科名 ファッション工科基礎科 1年	単位 2 単位
科目コード 400210	科目名 服飾デザイン論 I	授業期間 通年
担当教員(代表) : 三枝みさお	共同担当者 :	

【授業概要・到達目標・レベル設定】

服飾デザインにおける色彩、形態、コンポジションについての講義及び演習を通して基礎的な知識と技術を身につけ、創造力、分析力を養うことを目標とする。

レベル設定：色彩の基礎知識や配色の基礎、形態の構成要素やデザイン展開、コンポジションのセオリーについて理解し、それぞれのテーマに沿ったビジュアル表現ができる力を有する。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. デザイン概論 (1コマ) <講義>

- ・デザインの定義、デザインジャンル
- ・服飾デザインの目的
- ・造形的視点、機能的視点

2. 色彩 (9コマ) <講義・演習>

- ・色の三属性とトーン
- ・色の識別
- ・光と色、三原色と混色
- ・色の見え
- ・色彩の感情効果
- ・色相を基準にした配色
- ・トーンを基準にした配色

[カラーチャート作成]

[課題作成：色相別コラージュ]

[プリント演習]

[プリント演習]

[プリント演習]

[課題作成：カラーコーディネーション]

[プリント演習]

3. 形態 (7コマ) <講義・演習>

- ・形態の構成要素
- ・形態の感情効果
- ・シルエットの種類と特徴
- ・線とシルエットの分析
- ・線とシルエットの発想
- ・形態の見え方、イリュージョン
- ・形態の展開

[プリント演習]

[プリント演習]

[プリント演習]

[プリント演習]

[課題作成：直線/曲線]

[プリント演習]

[課題作成：形態の展開]

4. テクスチャー (1コマ) <講義・演習>

- ・視覚的触感

[プリント演習]

5. コンポジション (2コマ) <講義・演習>

- ・ドミナント/セントラリティ
- ・シンメトリー/アシンメトリー
- ・リズム(規則、不規則、グラデーション)

[課題作成：コンポジション]

[プリント演習]

[プリント演習]

[プリント演習]

6. イメージ (3コマ) <講義・演習>

- ・イメージと言葉
- ・イメージのビジュアル表現

[プリント演習]

[課題作成：イメージ別コラージュ]

7. 服飾デザインの展開 (4コマ) <講義・演習>

- ・発想法の種類
- ・発想法の活用
- ・デザイン発想

[プリント演習]

[プリント演習]

[課題作成：デザイン発想]

【評価方法】

S～C・F評価 評価基準：学業評価70% 授業姿勢30%

主要教材図書 文化ファッション大系 改訂版・服飾関連専門講座② 『服飾デザイン』 文化服装学院編 文化出版局発行

参考図書

その他資料 ベーシックカラー140 B5版、カラーチャート

授業の特徴と担当教員紹介

授業の特徴：講義と演習によって理論と感性を磨く

担当教員：文化服装学院専任教授

記載者氏名 三枝みさお

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KB1	科名 ファッション工科基礎科	単位 2単位
科目コード	科目名 アパレル素材論 I	授業期間 通年

担当教員(代表) : 菅野めぐみ	共同担当者 : 吉村とも子
------------------	---------------

【授業概要・到達目標・レベル設定】

アパレル製品や各自制作物の素材に关心を持たせることを目標とし、アパレル（衣服）の構成要素である纖維、糸、布地の種類や特徴についての基礎的知識を習得させる。さらに代表的な綿、毛、絹織物の種類に関して、教材（テキスタイルファブリック）を活用しながら、糸の構造や織物組織などの特徴に着目させ理解を図る。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. 概論 (講義、演習)	2コマ
1-1 各自着用しているアパレル製品の品質表示を通して、纖維組成や取扱い方法などを認識させる	
1-2 テキスタイルファブリック作成により布素材の種類や特徴をおおまかに認識させる	
2. 纖維	
2-1 纖維の分類 (講義、実験)	3コマ
(1) 纖維の形状、性能、混用による分類および名称、用語について	
(2) 纖維の鑑別・鑑別法（顕微鏡法、呈色法）について	
2-2 天然纖維 (講義)	8コマ
(1) 綿 (2) 麻 (3) 毛 (4) 絹	
・ 各纖維の種類、構造と成分、性質、加工などについて	
各纖維の代表的な織物の種類と特徴について (糸、織物組織、加工など)	
2-3 化学纖維 (講義)	4コマ
(1) 再生纖維 (2) 半合成纖維 (3) 合成纖維	
・ 各纖維の種類、性質、加工などについて	
3. 糸 (講義、演習)	3コマ
(1) 紡績糸、フィラメント糸について (2) 糸の撚り構成、撚りの強弱について	
(3) 糸の太さの表示 (4) ファンシーヤーン、加工糸などの種類	
4. 布地 (講義)	6コマ
(1) 織物・各纖維素材の代表的な織物の種類と特徴について (糸、織物組織、加工含)	
(2) 編物・構造、特徴、種類など主に織物との違いについて	
5. 総論 (講義) ミニテスト	2コマ

【評価方法】

S～C・F評価 (学業評価80% 授業姿勢20%)

主要教材図書 文化ファッション大系服飾関連専門講座③「アパレル素材論」文化服装学院編文化出版局／「ワークブック－アパレル素材論－」文化服装学院教科書出版部／「テキスタイルファブリック」文化学園事業局

参考図書 「Textile Dictionary」成田典子著 テキスタイル・ツリー

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介
講義とともに実物の布地教材に触れながら、纖維、糸、布地について素材への理解に取り組ませる授業です。
文化服装学院専任講師/菅野めぐみ・吉村とも子

記載者氏名 菅野めぐみ

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KB1	科名 ファッション工科基礎科	単位	1単位
科目コード 35010	科目名 服飾手芸 I	授業期間	半期（前期）

担当教員(代表)：毎熊舞

共同担当者：久保田桂子

【授業概要、到達目標・レベル設定】

服飾手芸全般における基礎知識を学び、それぞれの技術を基にして服飾造形及び服飾小物などに応用発展できるようにする。また、素材・テクニック・造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする。

【授業計画】

1. 手芸一般知識 (0.5)

手芸の変遷や技術の種類などを理解させる

2. レース表現 マクラメレース 基礎作品1点制作 (2.5)

結び表現のみで効果を出すマクラメレースの基礎テクニックを理解し、応用発展できるようにする

3. レリーフ・ライク表現 ラティススモッキング 基礎刺し製作1点 (1)

布の縫い縮め方によって新しい表面効果を表現するテクニックを習得させる

4. 装飾造形表現 キルティング2種・マジックレース・リバーズアップリケ 基礎作品制作 (2)

ミシンを用いて様々な表面効果を表現するテクニックやレースの原理を用いてオリジナル素材制作するテクニックを習得させる

5. 加飾美表現 エンブロイダリー・各種装飾技法 オリジナルポーチ制作 (6)

様々な手芸テクニックを用いてデザイン発想から色、素材の扱い方などを習得しオリジナルの装飾表現方法を理解、習得させる

6. 装飾造形表現 ネックレス製作 作品1点制作 (2)

様々なパーツと糸のみで透かし模様を表現するテクニックと基本的な金具の使用

【評価方法】

S～C・F評価

評価基準：学業評価 80% 授業姿勢 20%

主要教材図書

教科書：文化ファッション大系 服飾関連専門講座⑧手芸 文化服装学院編 文化出版局

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

本校を卒業した服の知識や制作過程を理解した教員による服飾に特化した装飾手芸技術の歴史、知識および技術の習得を行います。

記載者氏名 久保田恵子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KB1	科名 ファッション工科基礎科	単位	1 単位
科目コード 400310	科目名 服装解剖学	授業期間	半期（後期）

担当教員(代表) : 足立 美智子	共同担当者 :
-------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

解剖学的な人体の構造を衣服パターンと関連づけながら理解させ、美的で機能的な衣服製作に必要な人体に関する基礎知識を学習させる。 人体を外観から観察し、形態やプロポーションを認識する方法を学ばせる。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
シルエッター分析	講義	1
オリエンテーション・服装解剖学とは（衣服製作の為に必要な人体の構造）・	講義	1
人体のプロポーションについて	講義	1
人体の構成と衣服「全身骨格」	講義	1
人体の構成と衣服「頭骨」	講義	1
人体の構成と衣服「脊柱」1	講義	1
人体の構成と衣服「脊柱」2	講義	1
人体の構成と衣服「胸郭」	講義	1
人体の構成と衣服「乳房」	講義	1
人体の構成と衣服「上肢帯」	講義	1
人体の構成と衣服「自由上肢骨」	講義	1
人体の構成と衣服「下肢帯」	講義	1
人体の構成と衣服「自由下肢骨」1	講義	1
人体の構成と衣服「自由下肢骨」2	講義	1

【評価方法】
服装解剖学ノート（50%）・原型プリント（25%）・小テスト（25%）・出席

主要教材図書 服装解剖学ノート

参考図書 分担解剖学（骨学）

その他資料 骨格標本・衣服標本・各種計測機器

授業の特徴と担当教員紹介 担当教員：足立 美智子 服装解剖学担当教員と文化・服装形態機能研究所主任研究員を兼務。衣服制作に必要な人体の構造や機能とパターンなどを関連付けた授業を実施。研究所では衣服製作に必要な計測データの蓄積からボディ開発、外部企業や他大学との共同研究開発、障がい者衣料の研究などを行っている。

記載者氏名 足立 美智子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コド 科目コード	科名 ファッション工科基礎科 科目名 英会話	単位 1単位
		授業期間 後期

担当教員(代表) : 増田和香子	共同担当者 : 三村典召、越後谷明恵
------------------	--------------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

日常生活またはファッションに関係する事例からトピックを選び、それに関連した英語表現を学ぶ。
文法事項の復習と補充、ロール・プレイを通した会話練習、聞き取り、英作文などを組み込んだ構成とする。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数
自己紹介 Self-introduction	演習	1	手順を説明する I'll show you how (Sequence connectors)	演習	1
過去形の復習 Past tense	演習	1	I'll show you how: presentation	演習	1
時間の表現(現在形) Time expressions and the present tense	演習	1	日常に関する英語表現 Express your daily life (Frequency)	演習	1
アポイントメントをとる/約束する Making an appointment	演習	1	ファッションアイテム Fashion items	演習	1
好きなこと／嫌いなことを表現する Likes /Dislikes	演習	1	色/柄 Colors/Patterns	演習	1
人に関する英語表現 Describing people (personalities)	演習	1	ファッションショー Fashion show	演習	1
場所に関する英語表現 Describing Place (adjectives and prepositions)			未来形 The future tense	演習	1

【評価方法】出席状況(50%)、課題の提出状況(20%)、授業への取り組み(30%)の評価基準を用い、総合的に評価する。

授業の特徴と担当教員紹介

初年度の半期科目のため履修者のレベルをまず確認する。レベルに合わせて内容を変更していく。

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 なし

記載者氏名 増田和香子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KB1	科名 ファッション工科 基礎科 1年	単位	1単位
科目コード 904510	科目名 キャリア開発 I	授業期間	後期

担当教員(代表) : 森 薫子

共同担当者 : 井浦 つくし

【授業概要、到達目標・レベル設定】

チーム作業、ポートフォリオ作成を通して、仕事の流れや職種の理解、組織活動への意識を深め、「仕事」「働く」という観点からの自身の今後のキャリア(将来)、今後学ぶべきことを考える。

また、個人のポートフォリオの作成、プレゼンテーションを通して、プレゼンテーションの基本やポートフォリオの作り方を理解する。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
<u>授業の狙い/全体像</u> <u>キャリア開発①</u> ・グループワークの基本→グループで職種研究～取組み	・講義 ・グループワーク～発表	1
<u>キャリア開発② 職業理解・自己理解</u> ・働く事について考える ・職種、企業研究 ・自分について考える	・講義 ・グループワーク～発表	1
<u>グループプレゼンテーション</u> ・プレゼンテーションの基本～応用	・講義 ・グループワーク ・グループプレゼンテーション	2
<u>個人ポートフォリオ作成</u> ・ポートフォリオの理解～作成	・講義 ・個人ワーク～発表	1
<u>個人プレゼンテーション</u> <u>授業総括</u> ・個人ポートフォリオ プrezentation ・私のキャリアデザイ	・講義 ・プレゼンテーション ・Google Forms 課題記入	2

【評価方法】

受講態度(グループワーク・プレゼンテーション実習) 80%+提出物 20%

授業の特徴と担当教員紹介

・元アパレル人事担当者であり、現同校のキャリアアドバイザー講師2名が、人事目線や文化生の就職の傾向を取り入れながら、キャリア・就職への考え方を交え講義を進めます

主要教材図書・参考図書・その他資料等

特になし

記載者氏名 森 薫子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KB1	科名 ファッション工科基礎科 1年	単位 1
科目コード 980010	科目名 特別講義 I	授業期間 通年

担当教員(代表)：早渕千加子他担任	共同担当者：1-早渕・2-齊田・3-趙・4-鈴木・5-吉岡
-------------------	-------------------------------

科目概要（教育目標・レベル設定など。200字以内で記入してください。HP等に引用し、公開します。）
・ファッショントレーニング業界の各分野において幅広い知識・技術を修得すると共に、各自の専門性を考える動機付けを目標とする。
・レギュラー授業で包括できない部分の専門関連分野の知識を習得する。

【授業計画】

1. サスティナブルファッショントレーニング…ファッショントレーニング業界を持続可能にするために今できること（1コマ）
鎌田 安里紗 先生
2. 学生生活について…ストレスとの付き合い方（2コマ）
小澤 加代 先生
3. これからのファッショントレーニングデザイン①（1コマ）
宮浦 晋哉 先生
4. これからのファッショントレーニングデザイン②（1コマ）
宮浦 晋哉 先生
5. これからのファッショントレーニングデザイン③（1コマ）
高須賀 活良 先生
6. これからのファッショントレーニングデザイン④（1コマ）
ト部 司先生
7. 効果的な写真の撮り方（1コマ）
東原 昇平 先生
8. ブランド立ち上げ（1コマ）
加藤 翔平先生
9. マーチャンダイジングについて（1コマ）
桑名 まみ先生
10. デザイナーの仕事（1コマ）
河村 慶太先生
11. パタンナーについて（1コマ）
小澤 陽太先生
12. ニットデザインについて（1コマ）
曾我 日菜子先生
13. 受け継ぐお直し（1コマ）
壇 正也先生
14. コンセプトについて（1コマ）
岡部 健史先生
15. 劇団四季オリエンテーション
渡邊 里花先生

評価方法・対象・比重

評価基準：学業姿勢・出欠状況、感想文を基に、履修認定の是非を決定する

主要教材図書

なし

参考図書

なし

その他資料

プリント他

記載者署名欄 齊田 信子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KB	科名 ファッション工科基礎科 1年	単位 (1)
科目コード 947100	科目名 コラボレーション a	授業期間 通年

担当教員(代表) : 早渕千加子他担任	共同担当者 : 1-早渕・2-齊田・3-趙・4-鈴木・5-吉岡
---------------------	---------------------------------

【科目概要】

- 1年次では、産業とのかかわりを持つことにより、企業とその実務を知るきっかけをつくり、課外活動（コンテスト活動など）への積極的参加を推進することを目標とする。
- 個々の能力に合わせて各自の専門性を追及する。

【授業計画】

SARTO 猫けりぐるみプロジェクト×文化服装学院ファッション工科基礎科

廃棄を減らし、動物と人に動物と人に楽しみと心の豊かさを提供する活動

SDG, Sへの取り組み（大量に廃棄される生地、ぐっとくる猫用のおもちゃがない、SDG, Sは人間だけの話ではない）

プロジェクトの意味

- サステナブルへの寄与…廃棄される洋服の95%は焼却されています。未来に向けて、捨てる以外の手段を増やしていく必要がある。
- ファッション人材育成…社会性のあるプロジェクトを通して、広く活躍できるファッション人材育成を目指す。
- 動物愛護への寄与…兄弟のいない子猫にはぬいぐるみが必要です。製作物の寄付はもちろん、売上げ利益の寄付で動物愛護へ寄付する

製作について

- 廃棄の生地をSARTO株式会社様から提供して頂き、製作する。

販売と寄付について

- SARTO様店舗にて販売し、利益を支援金として寄付または必要な物品を購入し物品を寄付

評価方法・対象・比重

評価基準:コラボレーションの企画内容と期間により単位修得とする。

主要教材図書

なし

参考図書

なし

その他資料

なし

記載者署名欄 齊田 信子

2024年度 カリキュラム科目概要

科コード : KB1

科 : ファッション工科 基礎科

単位 : 1

科目コード: 未記入

科目名: プレゼンテーションデザイン演習

授業期間: 2024年9月-2025年2月

〈概要〉

プレゼンテーション資料制作し

その過程を通してプレゼンテーション資料の効果的なデザイン、情報整理など

制作、実際のプレゼンテーションに必要な技術、考え方を演習を交えながら学ぶ。

〈授業計画〉

1. オリエンテーション

- 授業の説明とPCの使い方を学ぶ

2. レイアウト実習1(演習)

- 白紙と黒紙を使いアナログで平面構成を制作する

3. レイアウト実習2(演習)

- レイアウト実習1で制作した平面構成をデジタル化し実際にレイアウトをする

4. ロゴ制作(演習)

- 自分をあらわすロゴを制作する

5. ロゴ制作(演習)

6. ロゴ制作(演習)

7. プrezentation資料をまとめる

8. プrezentation資料をまとめる

9. プrezentation資料の中間講評

10. プrezentation資料をまとめる

11. プrezentation資料をまとめる

12. プrezentation資料をまとめる

13. プrezentation資料を発表する

14. プrezentation資料を発表する

- 講評・まとめ

〈評価方法〉

提出された課題を評価し、90点以上-S 80点以上-A 80-70点-B 70-60点-C 未提出-Fとする。

〈使用ツール〉

- ・PC
- ・使用アプリケーション
 - イラストレーターをメインに考えています。(場合によってはパワーポイント)

〈担当教員〉

クマサカ ユウタ (熊坂 裕大)



1980年宮城県生まれ。多摩美術大学美術学部グラフィックデザイン科卒。
2005年より株式会社D・hatch、
2007年以降広告プロダクション2社を経て、2017年より株式会社CCに参加。
2018年独立。
2020年合同会社bears bold設立、現在に至る。
主なクライアント：博報堂、電通東日本、読売広告社、東急エージェンシー、ベネッセコーポレーション他
主な受賞歴：日本産業広告賞 日経広告賞
